

おしりのカイテキ保ちます

あきた 経済

秋田市の電子機器開発・製造「秋田テクノデザイン」(伊藤毅社長)は、自分で意思表示することが難しい人の排せつを横知して介護者に知らせるセンサーシステム「おしりカイテキ」を開発、販売を開始した。今後、特別養護老人ホームなどへの導入を目指す。

おしりカイテキは、おむつの内側に張り付けるプラスチック製フィルムセンサーと送信機、受信機で構成。センサーにはカーボンの電極が付いており、排せつ時のみ電流が流れる仕組み。センサーにつながる送

「秋田テクノデザイン」開発

排せつを知らせ 介護負担も軽減



排せつを検知するおしりカイテキの(左から)送信機、センサー、受信機

年度内6施設へ導入目指す

信機が、介護職員などが持つ受信機に信号を送り、受信機がブザーやメッセージで排せつを知らせる。センサーは使い捨てで、厚さ0.05mm、幅は5.5mmと2cmで、排せつ物と肌

が直接触れる時間が減るので、清潔さと尊厳を保つことができる」と伊藤社長。定期的な排せつ状況の確認が不要になるほか、排せつのリズムをつかんでトイレ誘導を促すことができるなど、職員の負担軽減につながることもメリットとして挙げる。

県内の施設でのモニタリングを経て、現在は能代市の1施設が試験的に導入している。

伊藤社長は「介護分野の職員不足が指摘されており、電子機器などを活用することで、現場の作業の効率アップに役立てたい」と話す。業界団体などを通じて販路を確立し、本年度中に県内6施設に155人分の導入を目指す。

伊藤社長は昨年3月、10年近く入退院を繰り返した、2年ほど介護サービスも利用していた母親を亡くした。以後、介護の分野に電子機器を役立てようと開発に着手。昨年8月には全国中小企業団体中央会(東京)による「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」の対象事業に採択された。

(斎藤文太郎)

鉱工業生産2.9%低下

経済対策
巡 9カ月ぶりダウン

4月

調査統計課がまとめた4月が著しかったが、経済対策な

1. 食料品工業は清酒や焼酎の生産が伸び、5.0%上昇の94.7となった。化学工業は12.5%上昇の106.2。
2. 4月の全国の季節調整済み指数は96.0で前月比1.3



山市長野の「秀よし」元鈴木酒造店(鈴木社長)は、土蔵で10年寝かせた「大吟醸長熟成」=写真=を販